

平成26年第3回周南市議会定例会一般質問通告一覧表
(平成26年6月6日～6月11日)

1 岩田淳司（アクティブ）

1 急速に進む公共交通インフラ（道路・橋梁関連）の老朽化について

- (1) これまで公共交通インフラ老朽化による事故の事例はあるか。
 - ア 撤去・取りかえの緊急性を認知するのに、これまでの検査内容に問題はないのか。
- (2) 国・県・市それぞれの公共交通インフラの管理範囲は。
 - ア 道路関連について
 - (イ) 県道の街路灯における市管理分の把握と管理は完全にできているのか。
 - (ロ) 設置年月から同時期に転倒などの危機が来るのではないか。
 - イ 橋梁関連について
 - (イ) 市内にかかる橋のうち市が管理すべきものやそれ以外の管理者のものは全て把握しているのか。また、県が管理する河川などはその情報の共有が必要ではないか。
 - (ロ) 上記を踏まえ、橋が崩れた場合、市の責任はどこまであるのか。
 - (ハ) 行政管理に属さない橋についての今後の考えはどうか。

2 豊かな共生社会の形成に向けて

- (1) 平成25年9月1日に学校教育法施行令が一部改正され、特別支援学校への就学決定の仕組みが見直されたことに伴い、以下を問う。
 - ア 市としてこの改正の目的をどう捉えているか。
 - イ これから一層の教師の専門性の向上が必要ではないか。
 - (2) 放課後児童クラブへ通う配慮を要する子のための職員教育は十分行われているか。
 - ア 地域コーディネーターなどの活用実績はどうか。
 - イ 職員の専門性の向上は行われているか。
-

2 坂本心次（新誠会）

1 めくもりのある地域の人口減少対策について

- (1) 周南市の人口減少対策をどうするのか。
 - (2) 婚活支援が必要ではないか。
 - (3) 周南市の子育て環境の整備をどうするか。
 - (4) コミュニティスクールの成果と課題は何か。
-

3 田村隆嘉（刷新クラブ）

1 スポーツ振興について

- (1) 次期スポーツ振興計画の策定に向けて、以下を問う。
 - ア 元気しゅうなんスポーツプランに対して、どのように総括しているのか。
 - イ アンケート調査の結果から周南市の特性、課題、要望をどのように認識しているのか。
 - ウ スポーツ推進拠点の整備について、取り組みの方向性は。

エ スポーツによる地域の活性化について、どのように進めていくのか。

(7) 我がまちスポーツ推進事業の事業実績と今後の取り組みは。

(4) 我がまちスポーツ推進事業の目的と目標及び評価の整合性は。

オ 学校体育と社会体育の連携、協力についての考えと、その方向性は。

(2) 平成27年10月に開催される「第28回全国健康福祉祭やまぐち大会（ねんりんピックおいでませ！山口2015）」について問う。

ア 新年度から福祉部にねんりんピック推進室が設置されたが、どのような取り組みをするのか。

イ 開催を契機にスポーツ振興を推し進めるため、周南市独自の取り組みを行ってはどうか。

4 小林雄二（刷新クラブ）

1 公契約条例制定に向けて

(1) 「市民の税金をもととする公的事業の発注者である国、自治体や公的機関は、そこで働く労働者の労働条件を保障するための責任を負っている」との考え方に立つものであるが、公契約の基本的考え方はどうか。

(2) 条例制定には全国の動向を見ても、首長のリーダーシップが重要であるが、公契約条例制定に向けた具体的な検討が始められないか。

(3) 公契約に基づく事業やサービスの質の向上は政策実現にもつながるもので、公契約条例制定は選挙公約にも匹敵すると思うがどうか。

2 「もやいネット地区ステーション設置事業」について

(1) 各地区に「もやいネット地区ステーション」が展開されているが、現時点での実施状況と実施予定はどうなっているか。

(2) もやいネットセンターと地域福祉コーディネーターの役割分担はあるのか。

(3) 地域の拠点に地域福祉コーディネーターということになると思うが、地域で「もやいネット地区ステーション」を支える体制についてどう考えているのか。

3 日常生活の地域拠点の整備計画について

(1) 地域の拠点たる公民館、支所併設公民館の整備計画が平成26年度に示されるとのことだが、進捗状況はどうか。

(2) それぞれの公民館、支所併設公民館に対して、改修か建てかえかについて、大まかな時期もあわせて示すべきと思うがどうか。

(3) 庁舎建設とあわせた地域拠点整備の明確な方針が、市民に安心感を与えるものであると思うがどうか。

4 公立小中学校の運動会開催時期について

(1) 運動会5月実施の学校も結構あるようである。理由には、教育カリキュラムの関係や熱中症の問題も言われているようであるが、教育委員会はどうか捉えているのか。

(2) 各学校の教育カリキュラムの中で、実施時期が学校管理者の判断で可能となるのか。

5 福田健吾（新誠会）

1 公立小中学校の開放と設備・備品の充実は

- (1) 基本的な学校開放の考え方を問う。
- (2) 避難所として学校を指定しているが、現状で十分に避難所として対応できるのか。
- (3) 社会教育やスポーツ振興を目的として多くの住民が学校施設を利用しているが、設備や備品の充実はどのように対応しているのか。

2 契約の考え方について

- (1) 汎用性の高さを維持するために現在どういった対応をしているのか。
 - ア 品物を特定することで業者を特定してしまうため安価な調達を阻害していないか。
 - イ 工法の特定においても同様でないか。
- (2) 建設業の若手労働力不足を解消するために、若手を雇用し技術者を育てる優遇制度は創設できないのか。
- (3) 契約の不成立や入札参加者ゼロについての原因をどう考えているのか。

3 周南市の未来を描くために

- (1) 現状のままでは、人口減少、働き手不足、そして財政難に陥るのは言うまでもない。少子化は国レベルで考えることでもあるが、待っているだけでなく、また、国策に頼るだけではなく、きちんとした考え方を自治体が持つべきときであると考えますがどうか。
- (2) 今年度から就学前児童の医療費が完全無料化になったことは十分評価する。生まれた子供に対しては制度対応ができていますが、生まれてくる子供を増加させる十分な一手になっていないと考える。出生数を増加させるための制度設計を考えているのか。

6 相本政利（公明党）

1 新たな交通システム構築の促進について

- (1) 現在取り組んでいる新たな交通システムの検証のため、取り組み開始の経緯やシステム策定の検討状況、そして現在の状況と今後の見通しを問う。
 - ア 鹿野地区等乗合タクシー
 - イ 八代地区友愛便
 - ウ 大津島島内生活交通システム
- (2) 本市全域の生活交通活性化について問う。
 - ア 周南市生活交通活性化計画にある「新たな交通システムの構築」及び「多面的な移動手段の確保」の活動状況は。
 - イ 本年度までの生活交通活性化計画の結果検証や次年度からの計画策定状況は。

2 空き家対策について

- (1) 「周南市空き家等の適正管理に関する条例」施行後の状況について問う。
 - ア 条例施行後の市民からの反響は。
 - イ 空き家の定義は実態と合致しているか。
 - ウ 条例の実効性は想定どおりか。
 - エ 行政介入によるモラルハザードの懸念は。

3 市道の総点検について

- (1) 市道の管理方法について問う。
 - ア 市道の管理方法及び経年の道路維持管理費は。
 - イ 維持管理工事の内訳は。
 - ウ 道路陥没件数と陥没に起因する事故内容は。
 - エ 防災対策として「避難所」、「病院」等への動線となる道路の総点検の検討は。
-

7 金子優子（公明党）

1 動物愛護について

- (1) ワンワン銀行で飼い主が決まり、譲渡される子犬の年間頭数は。
- (2) 譲渡の際、飼い方の指導・注意など行われているのか。
- (3) 避妊・去勢手術の助成はできないか。

2 カーブミラーの設置について

- (1) カーブミラーの設置基準と設置個数及び保守管理は。
- (2) 蓄熱材を使った曇らないカーブミラーの設置はできないか。
- (3) カーブミラーの管理番号による管理方法の導入は。

3 ゲートキーパー養成講座の取り組みについて

- (1) 今年度の実施回数、開催場所、受講者の対象と今後の取り組みについての考えは。
- (2) 市職員への受講推奨は。

4 学校のトイレの洋式化について

- (1) 洋式トイレの整備状況と今後の予定は。
-

8 土屋晴巳（新誠会）

1 地域医療対策事業（医師確保奨学金貸付制度）の現状と今後の取り組みについて

- (1) 奨学金の貸付状況について問う。
 - ア 貸付対象者数と入学資金奨学金を含む貸付金額の累計は。
 - イ 今年度からの臨床研修状況は。
- (2) 今後の取り組みについて問う。
 - ア 対象者の卒業後の意向調査・把握等について、市はどのように関わっているのか。
 - イ 周南市医師確保奨学金貸付条例施行規則に定める「市長が指定する医療機関」の今後の受け入れについての意向等を把握・調整しておく必要があるのではないか。
- (3) 医師確保奨学金貸付制度は「地域医療の充実」を目的にしたソフト事業である。費用対効果の視点から、効果をいかに発揮していくのか。市のかかわり方が大変重要になるが、そのための市独自の仕組みづくりをどのように構築していくのか。市の考えを問う。

2 防犯体制への取り組みについて

- (1) 本市の防犯の推進の現状と課題について問う。
 - ア 本市の犯罪状況と課題は。
 - イ 防犯対策の実績とその効果は。また、市の評価は。
 - ウ 防犯運動の推進状況は。また、市の評価は。
 - エ 自主防犯パトロールの実施状況について、市は把握しているのか。また、その取り組み

みに対する市の考え及びスタンスは。

(2) 防犯カメラの設置について問う。

ア 設置状況の把握はしているか。

イ 今後の対応について

(ア) 公共施設（遊具設置場所やトイレを含む）への設置の考えはあるのか。

(イ) 防犯カメラを設置する団体等への設置補助の考えはあるのか。

(3) 地域の安全なまちづくり活動に対する支援や防犯体制のより一層の拡充に向けた市の考えと意気込みについて問う。

9 西田宏三（周南会）

1 木村市長就任3年間の市政への取り組みについて

(1) 周南市の財政状況がこのまま推移した場合に、10年後は健全か。とりわけ合併特例債の返済が始まり、交付税も減少し、人口減少や高齢化による労働力の落ち込み等さまざまなマイナス要因が出てくる。対処方法はあるのか。

(2) 今後、避けては通れない公共施設の統廃合は、行政の立場からは必要と思うが、市長が言われる「絆」、「もやい」という観点から、市民の声を無視することなく「絆」を深めた施策はいかにあるべきか、考え方を問う。

(3) 庁舎建設に重大な関心を持っているようだが、実体経済を見ると、周南市とりわけ徳山地域の中心地の第3次産業の壊滅的現状をどう見るか。

(4) 市長の3年間の中で、ほとんど動きがない農林漁業、いわゆる第1次産業について、市長は声高らかに第1次産業の取り組みを言われるが、むしろ後退しているのが現状だと思うが、どうか。

2 市民病院の現状について

(1) 病院として、組織は充実していると思うが、どうか。

(2) 医局・看護師・事務職員等さまざまな分野の職員がいるが、人員の適正化という面は、市としてどのように考えているのか。

ア 医局、看護師、事務職員の採用基準は。また、嘱託職員の採用基準と定年制は。

イ 病院の規模から、一日の患者の人数はどの程度がベストか。

ウ 入院患者の適正人員に合う看護師の人員は、どの程度必要か。

エ 8時30分から受け付け開始となるが、医師の診察までの待ち時間は。

10 長谷川和美（周南会）

1 徳山駅周辺の浸水対策は

(1) 徳山駅北口の現状と今後の見通しは。

(2) 徳山駅南口について、以下を問う。

ア 現状は。

イ 平成25年発注した業務委託の内容と結果は。

ウ 県との協議の進捗状況は。

エ 実施計画の対象区域及びスケジュールは。

オ 平成26年度の事業計画と事業費は。

(3) 平成25年度の浸水対策事業として補助事業ベースでの北口、南口に対する内訳と今後の予算化の必要性及び総事業費は。

(4) 徳山駅周辺の浸水対策について、乗降客及び市民への周知徹底は。

2 肺炎球菌ワクチン予算化の方向性は

(1) 9月議会で補正予算、10月から実施とのことだが、進捗状況と周南市としての考え方は。

1 1 長嶺敏昭（参輝会）

1 徳山駅南側の将来展望と産業道路の東進について

(1) 南北自由通路「ぞうさんのさんぼみち」は港への動線として徳山駅南の活性化ビジョン、ウォーターフロント整備を今一度、明確にしなければ高額投資の意味が希薄となるがどうか。

(2) 国際拠点港湾としての徳山下松港は、石炭バルク港だけでなく、貨物・旅客の基点にもなるべきで、安心・安全を含む拠点ビルを核にした新たな集客スポットがぜひとも必要かどうか。

(3) 通称産業道路は近年大型店の進出が進み、その機能が倍増し魅力ある消費型都市に変貌する可能性がある。沿線の広い視点のビジョンも必要だがどうか。

(4) 劇的な発展を望めば、産業道路の東進や地域高規格道路の候補路線である周南道路により都市計画道路榎浜久米線との連結が不可欠な要素となる。水素ステーション誘致も追い風に、さらには出光興産の石油精製部門の撤退などは反面、光明にも見える。経済面では通過車両のための国道2号周南立体事業よりも優先順位は高いのではないか。

2 若者の定住・移住促進について

(1) 人口減少を仕方のない社会現象と捉えるのではなく、流出をとめるために本市に住むメリットを若者、子育て世代に与えなければならないがどうか。

(2) 市職員には強制できないまでも市内定住を勧める指針は必要ではないか。

(3) 中山間地域の若者減少には、具体的な施策を講じなければ地域コミュニティを救えないことを深く理解しなければならないがどうか。

(4) 競艇事業の収益金を特定財源化して、他市にない定住・移住へのアドバンテージを発信してはどうか。

3 山口県知事方針「県庁中山間応援隊」（地域支援企画員）創設との連携について

(1) 村岡県知事の中山間地域への考え方に大いに賛同するが、マンパワーということであれば周南市職員との一体的連携行動がより大きな効果につながる。周南市版の創設を急ぐべきだがどうか。

(2) 県・市職員同士の交流は、将来的にも期待できる要素が多々あるのではないか。

1 2 福田文治（参輝会）

1 公立保育所の統合について

- (1) 進捗状況は。
- (2) 若山保育園を200人規模にするにはスペースがないので、もっと広い場所に平屋建てで建設したほうがよいのではないかと。

2 合併後の福川地区活性化について

- (1) 次期まちづくり総合計画作成に当たり、福川地区の位置づけは。
- (2) 福川駅南側の線路沿いの緑地帯（企業保有地）は、将来的に地域の活性化のため有効活用できるよう企業と話し合いを進めていくべきではないかと。

1 3 田中和末（刷新クラブ）

1 人口減少対策について

- (1) 人口減少の原因の分析と今後の動向は。
- (2) これまでの事業の展開とその総括は。
- (3) 市内の高校生を初め、若者のニーズを把握する取り組みをしてはどうか。
- (4) 次期まちづくり総合計画の重点課題と位置づけ、若者の雇用、新婚家庭への優遇策、子育て支援、交流人口の定住化に向けた施策等、さらに大胆な取り組みが必要ではないかと。

2 高齢者施策について

- (1) 介護保険法の改正を受けて
 - ア 要支援者について、全国一律の予防給付を廃止し、市町村の地域支援事業（新しい総合事業）に移管することになるが、サービスの後退につながらないかと。
 - イ 特別養護老人ホームへの新規入所者は、原則要介護度3以上の高齢者に限定されることとなるが、現在申し込みをされている要介護度2以下の方への対応はどうか。
 - ウ 費用負担の公平化による本市への影響は。
 - エ 生活支援に向け「新しい地域づくりの推進」とあるが、どういったことを考えているのか。
 - オ 「新しい総合事業」により、市の事務がさらに煩雑になると思われるが、その対応はどうか。
- (2) 高齢者の運転免許証自主返納者に対するサービスについて、公共交通機関の割引等、もっと積極的なサービスを展開してはどうか。

1 4 友田秀明（周南会）

1 周南市の認知度・知名度アップ戦略について

- (1) 市の基本的な考えと、認知度・知名度アップにどのような取り組みをしてきたか。また、今後の戦略はどうか。
- (2) 徳山駅ホームの発車メロディーに、童謡「ぞうさん」を流せないかと。
- (3) 新幹線の車窓から周南市とわかる工夫はできないかと。

2 道の駅ソレーネ周南について

- (1) 計画どおりオープンできたのか。

- (2) 完成までの経費総額と国、県、市の負担額、及び特例債の金額は。また、想定外の出費はあったのか。
- (3) 指定管理料と管理内容は。また、事故や経営不振時の責任の所在は。
- (4) オープン後、順調にきているように見えるが、集客や売上状況は。また、問題点はあるか。

15 吉平龍司（公明党）

1 周南市高齢者プランについて

- (1) 本市の第6期介護保険事業計画・第7次老人保健福祉計画策定における医療と介護の連携の仕組みづくりは十分なものになるのか。
- (2) 地域で高齢者を支える仕組みづくりへの取り組みが地域包括ケアに結びつくと考えられるが、今後の取り組みは。

2 ひきこもり対策について

- (1) ひきこもりの長期化・高齢化など本市における現況について問う。
- (2) 本人や家族からの相談等の支援を行う県の「ひきこもり地域支援センター」と連携し、センターの周知をより進めるべきではないか。
- (3) 県との連携や早期発見による家族や本人への支援に向けての「ひきこもりサポーター」派遣事業等の今後の取り組みは。

3 被災市民の救護の対応について

- (1) 住宅の半焼、全焼失世帯に対しての生活再建への支援の取り組みについて問う。
 - ア 関係各部署の連携体制は、被災市民に対して住宅確保や生活必需品・普及資材の供給等、十分なのか。

16 青木義雄（参輝会）

1 回天記念館について

- (1) 所蔵品の維持管理及び展示はどのようにしているか。
- (2) 平成17年6月定例会で非核平和都市宣言を行った。恒久平和の確立という主旨と、回天記念館の存在価値をどのように考えているか。
- (3) 平和学習を通じて子供たちの郷土愛や人間教育につながるように活用するべきはないか。
- (4) 映画「出口のない海」で一躍脚光を浴びたが、それ以降のトーンダウンは否めない。記念館来場者数の推移と対策は。
- (5) 来年で終戦70年を迎え、時代の経過とともに風化が危惧される。今こそ明確なビジョンと、より積極的な発信が不可欠ではないか。

2 道の駅ソレーネ周南について

- (1) 5月17日にオープン以降の現状を問う。
 - ア 来場者数とその内容は。
 - イ 売上状況は。
- (2) 来場者アンケートなどを実施してリピーター確保に向けてニーズや意見を把握してはどうか。

- (3) 孤軍奮闘にならないように、周南市全体の道の駅として幅広いバックアップ体制が必要ではないか。
- (4) 道の駅を拠点として防府市への経済圏・生活圏の拡大に向けて、防府市との多面的な交流強化は推進すべきではないか。
- (5) 県東部にある道の駅として、その発信エリアを視野に入れて事業展開を検討すべきではないか。

3 中小企業支援について

- (1) 消費税 8 パーセント導入後の地域経済、特に中小企業の現状をどのように認識しているか。
- (2) 中小企業の支援策の現状はどうか。

17 伴 凱友（周南会）

1 道の駅ソレーネ周南と地域の振興について

- (1) 道の駅ソレーネ周南の一番の目的は地域振興と理解してよいか。
- (2) 道の駅は周南市の東西 2 カ所に建設を目指したものであり、熊毛地区への建設も必要ではないか。

2 再生可能エネルギー普及に関する市の方針について

- (1) 中山間地区で耕作放棄地を風力、太陽光発電基地にする際の課題は送電線であると考えられるが、市は送電線の設置に積極的に行動すべきではないか。

3 市庁舎建てかえについて

- (1) 旧近鉄松下百貨店の借り上げは月額 220 万円である。この額は 30 年間借用しても 8 億円以下、建てかえ予定経費の 10 分の 1 以下である。長期間借用の道はないか。
- (2) 東広島市、下関市、いずれの建設費も周南市のおおむね半額である。費用の節減は可能ではないか。

4 公共施設再配置について

- (1) 公共施設の再配置は何よりも市民の参画が必要と考えるがどうか。

18 中村富美子

1 新駅ビルの図書館整備について

- (1) にぎわい創出のため新駅ビルに図書館を整備するとしているが、(仮称)新徳山駅ビルに関する市民アンケートでは、商業施設が上位を占め、図書館は 8 位となっている。市民の声を市長はどのように考えているか。
- (2) 市長は、図書館の指定管理について CCC (カルチャ・コンビニエンス・クラブ株式会社) は有力な選択肢の一つと議会答弁しているが、神奈川県海老名市立図書館では、CCC と TRC (株式会社図書館流通センター) の JV (共同企業体) で指定管理を委託している。CCC から図書館のノウハウや人員をそろえるノウハウがないことなどを理由に TRC に対し JV の打診をしたと聞く。CCC は図書館運営に適していないと思うがどうか。
- (3) 教育長は新駅ビルの図書館運営について、はっきりした見解を述べていない。指定管理

についてどういう見解を持っているか。

(4) 図書館がふえることについて異論はないが、運営は直営で行うべきではないか。

2 高齢者のごみ出し支援について

(1) 周南市ひとり生活応援サービス事業が平成24年度から本格的に実施されている。ごみ出し等のサービスは十分利用されているか。

(2) ごみ出し支援の市民要求はある。市が個別収集してはどうか。

3 小中学校の暑さ対策について

(1) 昨年9月議会で小中学校への扇風機の整備について質問をした。新年度予算に反映されてはいるが、十分とは思えない。至急、補正予算で対応してはどうか。

19 島津幸男（周南会）

1 公共施設再配置計画について

(1) 公共施設再配置計画の基本的な考え方を問う。

ア 計画策定の理由、基準、目標を示すべきではないか。

イ 先行他自治体との差異及び周南市としての特徴を示すべきではないか。

(2) 市民への周知のあり方を問う。

ア カラー漫画による周知の費用対効果を示すべきではないか。

(3) 外部委託の必要性を問う。

ア 委託の具体的な内容と費用対効果を示すべきではないか。

2 庁舎建設について

(1) 6月15日実施の庁舎建設基本・実施設計受注者の公開ヒアリングのあり方を問う。

ア 94億円の内訳及びこれに含まれない費用を示すべきではないか。

イ ヒアリング後の審査を公開で行わないのか。

3 道の駅ソレーネ周南について

(1) 道の駅ソレーネ周南に対する基本的な考え方を問う。

ア 防災拠点としての考えはあるのか。

イ 公共施設としての安心安全対策は万全か。

ウ 今後の改良・改善点を問う。

エ 市としてのかかわりと経営責任を問う。

20 古谷幸男（参輝会）

1 児童クラブについて

(1) 入会基準の要件を子育て支援の観点から見直しができないか。

2 各種団体への補助金について

(1) 平成18年度当初予算によると一般会計で249件、26億円余となっている。平成26年度当初予算の状況はどう推移しているか、今後の考え方をあわせて問う。

(2) 補助金の決定はどのような過程を経ているのか。

2 1 中津井求（新誠会）

1 市民の利便性確保について

(1) 総合支所の窓口業務の改善について、以下の事案は総合支所では担当部署がなく、本庁で手続をするよう指示されるがどうか。

ア 公共用地内の看板（団地内の注意事項看板等）の更新手続（年1回）

イ 法定外水路（青線）の補修の際、水利権者の同意書の提出

2 地域の高齢化による空き家及び農地対策について

(1) 高齢化は今日の社会的課題であり、積極的な対応策が求められるが、所管はどこなのか。また、地元自治会とのかかわりはどうなっているのか。

ア 空き家の場合

イ 農地の場合

2 2 兼重 元（新誠会）

1 木村市政3カ年の自己評価について

(1) 公約はどこまで果たしたのか。

ア 公約の内容は。

イ 実態との差異は。

ウ 前任者による周南再生への4年間の取り組み評価は。

エ 修正を必要とした事業、継続した事業は。

オ 現総合計画、特にリーディングプロジェクトの達成度は。

(2) 現在抱える市の重要行政課題は何か。また、そのことについてどう取り組んでいくのか。

ア 平成30年度を目途にした取り組みは。

イ 周南市の将来構想をどう描くのか。

ウ ア、イの実現に向け、信念を持ってかじ取りを進める意志はあるか。